

'00

第九

のべおか第九だより（第278号）
2000年11月12日（日）

発行 のべおか「第九」を歌う会
事務局（延岡総合文化センター内）

882-0852 延岡市東浜砂町611番地 2

電話 (0982) 2 2 - 1 8 5 5

今日の練習	前回の練習	会員数	出席数	出席率	自己採点
諸先生方の指導を復習	ソプラノ	54人	26人	48.1%	60.8点
A (237～330小節) p.9～17	アルト	90人	52人	57.8%	66.4点
B (411～654小節) p.20～33	テノール	26人	26人	69.2%	57.0点
C (655～762小節) p.34～43	バス	28人	28人	64.3%	58.5点
D (795～920小節) p.46～58	合計	198人	115人	57.6%	62.2点
12月9日まであと27日					



@長井先生の指導（11月1日）

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
...お話

（ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。）

【お話】今までの例だと、夏だかなんだかに1度来させていただいて、秋、この時期だと2回目なんですけども、延岡の予算の都合で（笑）そりゃウソ...メドフォードいらっしゃるということでね、大事な時期に僕が来てもあれだと思って今年は1回ということで、だから今日は効率よくやらないと。渡邊さんのご報告だとさぞかし仕上がっているということだったので。

あと1か月とちょい。あまり解説めいたことを言ったことないと思うんですけど、これ何歌ってるんですか？第九って。この4楽章...。何が歓喜なんですか？ちょっと30秒ぐらいで何の喜びだかわかる人？



...あのね、前座には旧約聖書も関係があって（直接これはないですよ）、たとえばカオスの時代ってご存じですか？混沌。旧約聖書のことですから“天と地が裂けて空ができた”とかウソ八百がいっぱいあるわけだ。だからおとぎ話と思って聞いてくださいね。群雄割拠で神様がいっぱいいたわけです。そういうのを一つにまとめて、唯一絶対の神、この中でも出てくるけど“Ahnest du den Schopfer, Welt?”というところ。その創造主が天下、宇宙を統一した。それがひとつあるんです。

そしていよいよフリードリッヒ・シラーさんがお作りになったこの歓喜というのは何が歓喜かというと、一番最初にあちこちで戦争があって、みんな平等で仲よしであるはずな人類が憎しみあつたりした、あるいは貴族社会がすごくのさばっていて、平民との間にもものすごく貧富の差ができた、特に貴族社会がドイツのほうで凄く蔓延しているときにフランス革命で貴族社会が崩壊した、それにシラーがすごく感動してドイツもあぁじゃなくちゃなあと、“Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt,” ひとつになろうよ、上も下もなくしようよ、敵味方なくしようよ...でもここが大事なんです。

これ(第九)の中心ね。みんなが平等なんだけども、何かを目指してみんなが平等になろうよ。そういう求心力、どこかにみんなが同じ目を向けてみんなが平等で集まろうよ。それがこの場合、“神”なんです。それが“Über Sternen muS er wohnen” 星空のもっとむこうに住んでいる神、そこを崇めて、みんながそっちの同じ方向を向いて、みんなが平等になろうよ、というのがこのスジなのね。その思いを歓喜しよう...と。

...ですよ、4楽章になったら、そう思って歌って。僕なんか無神論者だけど、なんとなく神というか、対象は人じゃないけどあるんです。いつも救いを求めている何かはあるんですよね。僕はそれでいいと思うのね。これ(第九)はキリスト教であるわけだけど、自分の宗教がこのハートの中にあればいいんだと思う。ちょっとヒトラーみたいになっちゃうと困るけどね、そういうことなんです。



- 257 【Dei-ne Zau-ber ~】 あ、あと1か月ちょっとで1回のレッスンですから、とっても大事な言葉だけ言いますね。“Zauber” 求心力の対象である創造主、“御前”の魔力で、それ(歴史的に人類をあちこちに分けてしまった)を“Streng” 厳しく分けてしまったものを“binden wieder” ふたたび結びつける、一つにした。日本語で言うときも「御前の“魔力”」と言うじゃないですか。“Zauber” “Streng” を強調して。そしてあと一つ“Brüder” “兄弟よ” という呼びかけね。これらの言葉を大事にしましょう。それがないと般若心経みたいになっちゃう。
- 257 【Dei-ne Zau-ber】 みなさんの“-ne” が長いんです。
.....御前の“魔力!!”が”じゃなくて、“魔力が”怒らないように(笑)。もっと精神性。
- 260 【streng ge-teilt; al-】 “streng” ここはちょっと怒ってもいいね。“分け隔てた”。
- 262 【wer-den Brü-der,】 あの作戦的にね、“al-le Men-schen wer-den ...” ってcresc.すればいいんでしょう。



- 285 【Ja,】 “ぱー!”じゃなくて。“Ja,.”。障子が襖がパーッと開いたようにじゃなくて。少し音程が動く。そして瞬発力みたいなのに賭けないで。なんかこの音に人生かけてる人がいる(笑)。どっ

かにゆとりがあつてね、100%にならないで。

285 【Ja, wer auch nur ~】 ちょっとソプラノだけ...だんだん歌うの嫌にならないで(笑)。289~290 小節がえらい低い。

285 【wer auch nur ~】 女性、どっちかが速いんですよ。どっちだと思ふ?ソプラノとアルト、どっちが速いと思ふ?逆な言い方するとどっちが遅れているんです?アルトが速くてソプラノが遅れてるんです。なぜかというアルトは音が簡単なんです。ちょっとアルトを聞いてみてね。みなさん(ソプラノ)がこんなに苦労しているときに...凄い楽でしょ(笑)。これがプロの人だったら同じ給料もらってるんだよ。このあとに“Küs-se gap sie”(313~)もあるでしょ。そのときのソプラノも大変な仕事になるんですよ。だから彼女たち(アルト)はとても理性が働けるんですよ。そのときにいっぱい音を(ソプラノは)歌わなければいけないし、高い音を歌わなければいけない。遅れないように。

285 【wer auch nur】 “auch”、“アウフ”にならないで。“アオホヌル”。



289 【_ wer's nie ge-】 みんなで“nie”はしっかり歌おうね。“nie”って言ってみて。もっとタメて。

290 【konnt, der steh-le】 “コンデル”って言わないでね“konnt, der”。“t”をちゃんとやって。

291 【wei-nend sich aus】 “aus”低いな。最後までバテないようにね。

291 【お話】コーラスが歌うところを全部集めると、13分しかないんです。でもものすごくバテるじゃないですか。それはベートーベンがいけないの。ベートーベンが耳が聞こえなかったときに書いたちゃったもんだから。一番最初のテノール(257)だって凄いじゃないですか。出発から凄いね。あそこだけでも人間の声扱いをしてくれてないんです。器楽的なんですよ。

292 【die-sem Bund.】 まるで“Bund”の“d”に賭けているような歌い方だね。でもいいよ!そのぐらいやって。オーケストラがはいるとそのぐらいやらないとね。ちょっとデフォルメした形にしとかないと。



313 【Küs-se gap sie ~】 ソプラノとテノールは“Küs-se”から大仕事です。ベースとアルトは1/2の仕事しかしていない。そのつもりでインテンポで。

.....言葉だけで言ってみましょう。はい、ソプラノとテノールは“キュフセヘ...ガハブ...”と、一つの言葉を2つの音符で歌って。いかに倍の仕事をしなさいといけないか。...はい、テノールとソプラノだけ。(ピアノを弾いてもらって)あんなに和音がきれいなんです。

313 【Küs-se gap sie】 全部のパート、“K-”を伸ばして見て。...今度、いっしょにやるオーケストラ、どこですか?“キュー州...交響楽団”(笑)。“坂本...”。正しくは?言い始めたら口を変えな

い。...人のパートを聴くとよくわかるでしょ。人間ってそんなもんですよね。“キー...ウ”と最後、“ウ”になるんですよ。言い始めたら、ココ（口角）を保って。ここが大事なんです。この脇が。

314 【uns und Re-ben,】 “-ben”も音に届いて。2度目をあきらめている。とりあえず出しておこう、じゃダメよ。それでハーモニー壊してる。

316 【prüft im Tod; Wol-】 “prüft im Tod;”だけやって。“試練を受ける”という意味ね。“Tod;”の音程。

318 【Wurm ge-ge-ben,】 ホントに（音程）正しく、そこ参加していますか?...ちゃんとアップテンポになっても正しい音程で。



319 【und der Che-rub】 “Che-”のsfを“パーン”とあててください。同じ音だからね、印象的じゃないかもしれないけど。ベースはオクターブ上に上がるから付けやすいけど、テノールもちゃんと付けて。

321 【und der ~】 スタッカートが付いているけれども、指揮者によって極端にそれをさせる人がいるけれども、“Seid umschlungen, (597)”もスタッカートが付いていますよね。そこもすごく極端にさせる指揮者がいるんですけども、僕は2分音符についてはね、トランポリンのバウンドみたいでいいと思うんですよ。みなさんの今は“平ら”に聞こえるので、もうちょっとバウンドして。でも純粋なスタッカートにはしないで。切れているという感じではなく、バウンドだと思って。

330 【Gott.】 “t” “t”って聞こえるね。現田先生は（指揮）どうかな。たまにね、伸ばさせておいて突然切る人がいるんですよ。“ゴーオット！”って言いたいじゃないですか。そのためには予告してくれなければ困るわけで。...（現田先生）ではないよね。きっと。奥さんも歌手だからわかっている。
.....指揮者の顔と手を良く見てね。



330 【お話】...（天井から紙が落ちてきて）また梅沢富美男あたりが来たのかしら?...当たり?...去年来たとき一緒に泊まったのよ、あそこに（笑）。この季節になると来るんだ。

411 【Lau-fet, ~】 これも毎年、申し上げているんだけど、“wie ein”（416・419・427）は1、2回目

は休符が入ってるの。3度目は切らない。いいですか。

411 【Lau-fet,】 “L” をもうちょっと巻いていいな。そして前、先取りしてください。...なんか余計な音が聞こえるな。“ラウフェットト...”

422 【Sie-gen,】 “Sie” はしっかりね。“勝利に向かって”

543 【Freu-de,~】 みんなここ嬉しくなっちゃって「みんな知ってるだろーこのメロディー！」って絶叫しちゃうんだけど、冷静になってくださいね。fは1つ。“alle Menschen (566)” からfが2つ。最初からffだと思う。聞く前から想像できる。最初から頭の中では「最初はf、途中からff」と。



543 【Freu-de,】 “F” は前。...できるかな?そのぐらいしないと、オーケストラがかなりの音量で弾くんですよ。“Fr” というのは先取りしないとね、オーケストラの“ジャン”ってところにはいってしまうと、せっかくの“Fr” が消されちゃうんですよ。だからオーケストラが静かなうちに“Fr” を。さあ早いもの勝ちだ。...巻き舌できる人、どれぐらいいる?そんないにいない。“フロロロ...” だから弱いのか。



544 【schö-ner~】 “シェーネル ゲェッテル” じゃ悲しい。せっかく印刷物を見てるんだから、みなさんが“schö-” って言ってる時に文字を見て。“シェー” の瞬間“o” って書いてあるじゃん。“ゲェッテル” も“ö” が書いてある。だから口は“ö” って歌わないと。...で、“エ”。あのね、うちの生徒にこういう例があるんだ。“オ” の口をして“エ” って言えがいいんですよ、って“オ” の口がもう変わってんだよ(笑)。“エ” って言えばって言うるとき“エ” になってるんだ。...(口の形)縦。

548 【aus E-~】 歌っているときに、私がパーンと手を叩くところがあるじゃない。“feu-er-” とか“E-ly-si-um” それから“Hei-lig-um!” sfのついている所をもう一回確認してね。

549 【ly-si-】 発音、“Elysium”。これも“Küsse” と同じです。“エリー” じゃなくて。あとのほうでフーガが来るでしょ。あのときも注意。...あー、“イー” って聞こえた。“y” は“u” という母音なんです。“y=i” はイタリアのみ。

566 【teilt; al-~】 あのお、ソプラノさんのメロディをみなさん(ほかのパート)が応援しているんです。下の3パートはテーマでもなんでもありません。ソプラノさんのメロディにハーモニーが付けられている。だからソプラノがやる仕事と同じことをしなければならぬ。アクセントとかね。ソプラノさんが山を迎えるときにみなさんも山を迎えなければならぬ。平らだろーうが低かろうが

ね。“alle Menschen werden”が一番の山場だよ。でもアクセントsfは“Bruder (570)”についている。みなさんもそれを理解してあげていて。一番高いところから降りかかったところがベートーベンが望んだ思いを込めなければいけないところ。“兄弟よ”という呼びかけのところ。“wo dein sanfter Flügel weilt;” (柔らかい羽根の庇護を受けて)。そのところで“alle Menschen werden Brü-der!” (すべての人類はひとつになろうよ)というところなんです。だから“werden”が強くなる必要はないの。“Brü-der!”という呼びかけが必要なのね。是非ソプラノさん、それを守ってね。

- 566 【teilt; al-】 (ff) 2つ！って私が叫んだときに、みなさんの胸前がもっと広がる感じがほしいな。それが音の中に表れてほしい。変わらないの、態度が(笑)。



- 595 【Seid um-~】今のその声、重い。自分の顔を地球だと思って、北半球で歌って。シドニーのあたりで歌ってるんだ、今。上で歌うほうがね、この反響板を通して客席に届く。せっかく上に反響板があるんだから。...北半球は良かったんだけど、北極よりもっと上の人がいる(笑)。音程はうわずらないで。

- 599 【Die-sen】...弱い、弱い。“デェ~”って演歌にならないで。

- 600 【Kuß der】はい、ここもしんどいところで。メドフォードのときのマエストロが直したところ。“ディール”って聞こえる。“dir”が“ディール”でしょ。これは“デェール”なまって。



- 601 【gan-zen】“デェール...ガーン！”ってのは素人みたい。みんな素人じゃないもの。プロだもの。入場料とるんでしょ、じゃあプロですよ。見た目にも“der”と“gan-”はこんなに離れてますよね。この間の音を離さない。もっと接近してて。そこは息、吸わないの？“der”の前。“Kuß”の後、1回だよ。 “der”と“gan-”の間を切っちゃだめ。切るならば、“Kuß”の後。

- 603 【Seid um-~】“Seid um-schlingen, Mil---li--o-nen”どこにもスタッカートがありませんよね。男性の最初のところ(597)はスタッカートがあったんだけど。でも演奏では“schlun-gen ... -o-nen”と少し弾みます。

- 611 【Brü-der!】...ホラ、“ウ”になってる!“ü”。苦しいけど“ü”って言い続けて。

- 612 【ü-berm~】ここはバリトンさんにとっては極限超えてるのね。どこでプレスしてもいいや。全員が一息で歌おうとするとね、“zelt”まで持たないんですよ。プレスは単語の途中だろうが全然構いません。全体で長続きしたいからね。

615 【muß ein】 “ m ” をもうちょっとと言って。 “ m ” を3つも4つも言って。

617 【Va-ter】 “ ber ” “ Var ” が開かないように。 “ lie-ber ” は “ 愛する ” 、 “ Va-ter ” は “ お父さん ” 。 “ 愛するお父さん ” の間を開けないように。

618 【woh-nen.】 男性、 “ woh-nen ” ややスタッカート。（626も同様）

622 【zelt muß_】 “ zelt ” と歌われたあと、 “ m ” をたくさん言わないとだめ。特にベース、 “ m ” をいっぱい言わないとだめ。テノールとアルトも “ m ” 。ソプラノさんは（623）一番言えるハズ。その前がお休みなんだもの。

625 【Va-ter】 今、男性に言ったことをソプラノも守ってね。 “ Va-ter ” の前で息を吸わない。そこで吸わなければどこで吸ってもいいですからね。相談しない。個人に任せるわけです。なるべく非音楽的な場所がいい。

626 【woh-nen.】 “ woh-nen ” ややスタッカート。...そうそう、僕はこれを “ 音を置いて ” という言い方をする。 “ woh-nen ” お供え物をするみたいに。だから切るんじゃないでね。



627 【お話】 ちょっとピアノを逆にしよう。糸井先生、こっちの顔とこっちの顔...どっちが得意?...糸井先生の違う横顔も見たいから。後半はぜひそうしましょう。化粧してんの？スッピンだと思ってた。...これでよく聞こえてくるよ。僕の大学の授業がこれなんですよ。

631 【Ihr_ stürzt】 テノールのその音がハーモニーを決定する音ですから、もう少し聞こえるように。

631 【Ihr_ stürzt】 “ Ihr_ ” と歌い出して、指揮者をギリギリ待って、 “ stürzt ” をギリギリ待ってね。それでちゃんとう（cresc....decresc.）しましょうね。みなさんはcresc.は上手なんだけど、decresc.しないうちに “ sturzt ” にはいっちゃう。

633 【Mil-li-~】 ここからすぐcresc.と書いてある。そして “ Ah-nest ” （635）の前にppと書いてあるんだけど、すぐcresc.と書いてある。それを覚えておきましょう。

639 【Such' ihn~】 “ n ” があるでしょ、 “ u-berm ” があるでしょ。その間、 “ n u ” をくっつけてもいいから。 “ ihn uber ” とやると喉が1回切れちゃうから。ただソプラノさんだけだよ。それぐらい続けてほしいんです。その間に小節があるのを忘れて。...ほかのパートは違う。.....だいぶ、だいぶ良くなった。というのは梅沢富美男みたいだったから（笑）。“ イニュー~ ” ってならない。

639 【Such' ihn】 僕を恨まないで、ベートーベンがそう書いてあるんだから。 “ ihn ” でcresc.まだ書いてない。僕はソプラノのほうを向いて言ってるけど、みなさんの “ ihn ” でcresc.が始まっている。640小節にいかないうちにcresc.しないこと。これは声楽的にとっても大事なことです。

642 【zelt!~】 “ zelt! ” とやったときに小さくしないで。そのあとアルトさんしっかり上がってね。



- 651 【ü--ber~】 イタリーのベルカント、発声でアッペルトというのがあるんです。もうひとつジラーリ、ねじるというのがある。後者はfは出るけどpが出しづらいんですよ。コーラステノールにはアッペルトという発声があって、ファルセットだか表の声だかわからない微妙な所の声。そういう声をここで使ってください。...息を抜くような感じね。喉を鳴らさないように。
- 651 【ü--ber~】 はい、男性だけいきましよう。拍数に責任を持ってね。... “ muß ” でプレスしたらどうですか。でないと、“ --nen. ” がフェルマータだから、つらいですよ一息は。
- 654 【woh--nen.】 “ n ” は？（口を閉じない）

- 719 【Seid_】 “ Seid ” はタメて出てくださいね。みなさんのナナメ上にソプラノが “ Seid ” って出ます。これは音高いし立派に聞こえてくるんだけど、みなさんの音型を模倣して出てくるんです。ベースの皆さんのほうが主人公なのね。あなたたちが第一に出てくるんです。そこが印象深くないと「ソプラノなんて出てきたの」みたいに聞こえちゃいますから。今、第二主人公のほうが強い。今の世相を反映しているようだ（笑）。



- 730 【Ihr stürzt】 もう少し声出して。お風呂の中のオナラみたいだから。音が短いでしょ。この前にダブルフーガ歌っていた音響があるじゃないですか。プラスバンドの演奏のあとにフルートのソロをやったりすると、かわいそうなの。ちょうどここは2,3ページ、フーガを凄い音響で歌ってきたところだから、聞こえないんです。
- 753 【zelt muß_】 “ muß ” はピアノに戻して。
- 758 【ein_】 ここはナチュラルのまま...？シャープ？...今下がってるよ。メドフォードはシャープ？じゃあベーレンライター版使ってらっしゃったのかな。N響は3年目なんです。ここがド#になったのが。でもド#だと、オーケストラの旋律と食い違うんですよ。ここはホントに永遠の謎で...
- 795 【Dei-ne Zauber, ~】 ここ、よく言うの。みんな出そびれたら出そびれていいよ、そのあとcresc.が聞こえるからって（笑）。だんだんみんなが参加してくるとね、自然にcresc.に聞こえるのよ。指揮者も指し忘れるときがあるの。ホルストシュタインさんって人が指し忘れたの。
- 795 【Dei-ne Zauber,】 “ ダイネツァオベル ”、これもここ毎年言っていることです。先輩諸氏、ちゃんと覚えて。喉で覚えて。“ au ” で書いてあるけど “ アウ ” って言わないで。みなさんのはまだ違うの “ アー ” だ。
- 801 【was die Mo-de】 みなさんは突然 “ was ” から大きい。795がpではいって、cresc.が書いてある

じゃないですか。そこでcresc.を始めて“was”に到達しなきゃ。



- 806 【Al-le ~】 Poco adagio (810) にはいるまで“al-le Men-schen,” が4回ありますね。その4回目の“al-le”で遅くなってしまふ。そこ(809)はまだ遅くないの。“Men-”(810)から遅いの。オーケストラは今のみなさんのようにしませんからね。とりあえず“Men-”まで行ってください。“al-le”(809)で次は“Men-”だと思わないで。
- 806 【Al-le】 この出は自信がない？ ホントに理屈がわかってる？ 出るタイミング。隣の人が出たら出よう？ ここはシンコペーションって言うんです。出会い頭。“...ア~”じゃないの。
- 810 【Men-schen wer-den ~】 ここは何か書いてありますね。decresc.かcresc.かなにか。それをちゃんと守って。そして“-schen,”に行くときはテンポゆっくりです。ひっこんでください。それから“wer-den”のところでcresc.って書いてある。そして“Brü-der,”のdecresc.も欲しいわけ。この2小節間にもものすごく出たりはいたりする。それがみなさんの棒歌いみたいに聞こえるから。
- 813 【Flü-gel weilt._~】 それからみんなで吸えば恐くない。このプレスが圧倒的に多い。“sanf-ter”というのは“柔らかい”“Flü-gel”は“羽根”。“柔らかい羽根”というのはぜひ一息で。ソプラノは吸いたいよね。ほかのパートが伸ばして歌ってきたところを大仕事やってきた。...せめて“Flü-gel”まで息を続けて...って言うと、そのあとでみんな吸うのかな(笑)？
- 818 【Dei-ne Zau-ber,~】 歌い出しはpなんだけど、すぐcresc.
- 830 【Men-schen,】 暗譜のとき、ここ間違えないでね。ソリストのところを歌わないように。ギャラ...ないよ。
- 855 【Seid um-schlungen,~】 オーケストラは全オケですから、ラッパもバイオリンも全部音だしてしまからね、みなさんの“Seid”は聞こえないの。“S”だから、前に出して。



- 864 【Brü-der!】 “It!”を伸ばしてきていますので、これを忘れないこと。“We-”のまま“Bru-”に行かないように。
- 865 【ü-berm_~】 ソプラノさんとテノールさん、“タンカタンタン タンカタンタン...”というリズムを感じて歌ってね。
- 889 【Kuß der ~】 みんなで大きな罪を犯しているところがあるんだけども、「いや私は正しく言ってる

よ」という人がどのくらいいるか... “der” が全部 “デール” って聞こえるんです。ここメドフォードのマエストロから「ここは “デール” です」と言われてる筈ですよ。それが今、4パート全部が “ディール” だ。もっと “エ” にして。...あとソプラノさんで “キウス” ってなる人がいる。 “クス”。音が高いからなるんじゃないかな、と思うんだけど。 “キウス” は “接吻をしろ!” という命令形なんです。 “クス” は “接吻” という名詞なんです。 “キウス” と “クス” は品詞が違うから。

- 895 【gan-~】 ここをひとりで歌わせて入団決めるところがあるの。残酷もいいところね。いっばんにその人の音域もわかるし音程の良さもわかるし。



- 915 【Toch-】 僕はさっき、求心力という言い方をしましたよね。唯一絶対の神というものがあって下に百万の民がいて、それがみんな同じ方向に向こうよという。ちょっとファシズムみたいなものなんだけど。この “Toch-ter” に向かって歌ってきたんだと思って。いろんなことがありました、いろんなフーガも歌いました、そしてこの “Toch-” にみんなの和音感が凝縮されていくような、そんな “Toch-” でいてほしいんです。...でね、日本語的だと “-オ” になるんですよ。 “To-”。そこに向かっていきましょう。

..... “オ” しか聞こえない。 “T” がない。日本語の “タチツテト” と全然違う。 “グーテンターク” 接点がいっぱいあるのね。これで “T”。みなさんはそれですぐ “オ” にしちゃうからダメだ。 “オ” に賭けないで “T” に命賭けて。

- 916 【-ter aus E-】 “Toch-” 1,2,3... “ter”

- 917 【ly-si-um!】 “ly-si-u” のあと、どうする? “-m!” はどうする? つむって。 “ウームウ” なんて言う必要はないんです。つむれば大丈夫。息を止めるときの音声がねこれだけの人数だったら “m!” と伝わります。開けたままに随分してらっしゃるから。

- 919 【Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-】 “Göt-ter-” のffをちょうだいね。



- 920 【お話】 ものすごい駆け足だけど、いきました。我が大学は6月から練習を始めておりまして、出席がみなさんと比べてどうでしょう...年間48回授業があります。そのうち4回休んだ者は本番に出られない。「48回の練習で4回休んだら、N響の第九に出られない!」という発表をこれから国立に帰って掲示板に張り出すんです。おっこちた人の名前を張り出したらかわいそうだから、出られる人だけ名前を書いてあるんです。

...厳しいですか、そうでもない?...あのね、こういうことなのね。いつも生徒達に言うのはね、

「先生、その言うことは散々聞いたよ」と言う人はいい人だと。ところが出席が悪いと入れ替わり立ち替わり、今日言ったことをみんなが聞いていない。次に集まったときに先週言ったことを聞いていない人がそれをブチ壊していく。アンサンブルというのはどういうものですか、みんなが同じことをしないとアンサンブルじゃない。「そこは切ろう」と言ったときにそれを聞いてない人がそこを続けちゃったりすると、そういうのを積み重ねていくと、練習というのは上にあがっていきません。そのために僕はいつも「出席、出席、出席...」と言ってきているんです。「まず出てこい」と。「うまくなるのはそれからだ」と。

みなさんはきっと凄いいいんでしょうから（笑）、あなたから送っていただくもの（第九だより）には出席率もちゃんと書いてあるのよね。特にこれから佳境にはいるところです。“まずは出席すること”。それから歌うことの悩みが始まると思って...みなさんがパート別にコメントを第九だよりに出してるでしょ。「忙しくて出られませんでしたので、うんと自分で練習しておきました...」これは良くないですよ。とって立派なようだけでも。アンサンブルってのは“ココへ来てナンボ”ですから。そしてここにいる人が神様なんですよ。ひとつにならないと、「うちで勉強してます」というのはホントは勉強にならないんです。...という願いをしておきます。

前回の“ひとこと”

仕事の疲れか全体的にまとまりがなかったかな？私も生あくびが何回も出ていて。折角、長井先生がお見えですけど毎回同じ事を何回もやり直し注意されて、すみませんと言いたい。今回の練習が本番に間に合うよう頑張りたいものです。（日之影のシーちゃん）

けっこんおめでとう 竹尾さん
（キャサリン）

今日はなかなかいい声が出ました。長井先生の指導のおかげですね。



（てんてこまい アーブー）

出席率、やっぱり、その人自身のやる気の問題だと思います。事情がいろいろあるのでしょうけど、第九を最優先にするぐらいの気持ちで臨みたいものですね。

腰が痛く、長時間立っている事ができませんでした。先生の指導、楽しかったけどいっぱい注意されたなあー。（Mike）

長井先生の声、とても素敵で思わず引き込まれそうでした。あと1か月ぐらいしかありませんね。頑

張りましょう。（日向キルトママ）

今日の指導は勉強になりました。けど、普通の日の練習はつかれるな...。今度も日曜の『夜』だけど楽しみにしてがんばります。

（チョコ）

今日の練習を頭に置いて、本番に向けて歌っていきたいです。長井先生、レッスンありがとうございます。

後半、ずいぶん調子が出ました。長井先生、年々若くなられるようですが、何か特別な健康法でもおありですか？（You-You）

長井先生の練習日でしたが、平日ということもあり通常よりも少ないようでした。気合いを入れて頑張ります。（S.N.）

あまり声が出なかったが、長井先生の指導、楽しかった。



（音波響架）

今日は声の調子が悪かったのですが、だんだん出るようになりました。やはり先生の指導のおかげでしょうか？やっぱり練習にき

てなんぼですね。

今日も雨です。いつも出席して良かったと思います。長井先生の力強い音声を聞くだけでもしっかり歌いたい気持ちが高まります。

1年が本当に本当に早く過ぎていきます。本番まで1か月あまりとなりました。風邪などに気を付けて元気で頑張りましょう。今日は長井先生のご指導、ありがとうございました。（ブンちゃん）

かけ足だけど、密度の濃い練習でした。ありがとうございました。（シャローム）

今日は長井先生との練習日でした。声もよく出てとてもわかりやすかったです。（時雨夢有）

発音がうる覚えだけど、つい自信なく小声になってしまうので、一つひとつ意味を確認しながらマスターしていこうと思います。

いつ聞いても長井先生の声はステキです。今からでもまず練習に出席する気持ちを持って、みんなでがんばろう！（はるみ）

久しぶりの長井先生のご指導、のせられますね。もっとじっくりご指導いただけるといいのに...と思うのは私だけではないはず。

（anne）

今日は3時から9時半まで音楽にひたっています。疲れるけど幸せな事かしら。長井先生のタクトで音を引き出されて、出ない音も出たような...。本番まであと何回？（スピカ）

いろいろな事が続き、ヒメイをあげています。でも頑張らなくては。(チーママ)

久しぶりの長井先生のご指導、具体的な発音指導・強弱指導など、解りやすく楽しく歌えました。今日のご指導をしっかりと活かしてがんばります。ありがとうございました。

平日の練習は疲れます。見かけだけでは超立派な足も意外に忍耐力がなくビリビリします。が...長井先生の楽しい指導で後半も頑張ろー！(TOM)

「まずは出席すること!!」その通りですね。反省...

素晴らしいご指導、ありがとうございました。大変貴重で身の引き締まる思いです。楽しい練習でした。

とうとう来月と間近になってきました。今年は何となく一年が早かったような気がします。長井先生の注意点、毎回、ほぼ同じ所のような気がします。反省しています。

何だか風邪気味で思い切り歌えません。でも長井先生のやさしいご指導、とても楽しゅうございました。ありがとうございました。(ねずみバーバ)

いつもながら素晴らしいご指導、有り難うございます。頑張りたいと思います。

長井先生のご指導、2時間は短すぎる！でも来ていない人はどうするつもり？(ソムリエ)

力強い太い音量は、聞いていてとても気持ちのいいものですね。どうすれば音量が保てるのだろうか。(R)

ただ一日の長井先生のご指導、とても充実してました。何度も同じところを言われてるのでしょいか。私の耳には新しいところばか

り。しっかりしなければ。ありがとうございました。(Emily)

長井先生のお声のすばらしいこと。歌を聞きたいなあ。毎回同じ所をなおされる。

高音が難しいという自己暗示。しっかり頭の中にインプットされている。どこかへ飛んで行けー！(トロッコ)

発声や強弱の歌い方がとても解りやすく良かった。(ヨッチン)

長井先生のご指導は、本当にダイナミックなので、疲れを忘れま

す。(ドウリンク)
腹筋使って痛いのは良いけれど、姿勢が悪いのか腰が痛い...今日仕事でちょっと遅れたんですが、ステージ見た時、本当に少ないと思いました。皆、頑張りました。(究極凡人)

久々の先生のレッスン、緊張の中にもたのしい。

アツという間に一年が過ぎようとしている。私にとって3度目の第九ですが、練習を重ねる毎に発声、内容表現、発音、その難しさと奥深さを強く感じている。体に気を付けて今年も感激的な第九をうたいたい。(Hamu-Star)

楽しかった。適度の緊張感...今夜もゆっくりよい夢がみれそーっ！

何だか忙しく、バテ気味でしたけど、長井先生のご指導に気持ちよく歌えました。(光ちゃん)

長井先生の素晴らしい声にうっとりしながら、自分も良い声が出たような気分で楽しく歌えました。トークがとても楽しかったです。

何時も初心という気持ちは大切だけど、回数を重ねた者はそれなりに何か生み出してないといけな

いと改めて感じます。
長井先生のすばらしい声とすば

らしいご指導、ありがとうございました。がんばります。(Y.Y.)

今日は11月1日、初心の心で歌ってみました。明日もあさっても初心を忘れず、今からここからの精神を。(レッドマン)

長井教授の指導、どうもありがとうございました。

素晴らしい指導でした。

仕事が終わらず、途中で抜けて出して遅れて来ました。またこれから戻ります。あともう少しで本番を迎えます。休まず出席したいと思います。

だんだんいい声が出るようになりました。ありがとう。(歌太郎)

先週、休みました。今週は1時間早くきました。(ねこぶんじゃった)

なんだかんだといていたミレニアムもあと2か月になりました。これから寒くなりますね。(なるのかな?)ファイトです。(黒鳥の湖)

久しぶりの長井先生のレッスン、以前に言われたことを楽譜に書いてあり、やはり今回も同じ点を指導された。人間って忘れていく生き物なんだよな。だから練習を！(トシ)

すみません。先週、一週間学校を休んでしまって、第九も休みましたがすみません。かぜひき(大)

さあ今年も11月。いつのまにか本番まで1か月ちょっとになってきた。なぜか今年は時がたつのが速い。(グリーンヒル)

長井先生の指導でしたが、雨のせいでしょうか、出席率が悪く先生に悪い気がしました。

長井先生のダイナミックでポイントをついた指導で眠っていたところを覚まされる思いがした。毎回のことだが。(T.Y.)

編集後記

今回は11月17日(金) 18:30~21:00

さて今日は日曜の夜の練習でした。前回の指導をいつものごとく掲載しましたが、次の練習までにマスターしておいてください。次は現田先生の指導で金曜日の夜、場所は野口記念館です。この15年間で初めての練習会場ですね。考えてみれば我々、これまでいつも本番の会場と同じ場所での練習だったのです。場所にも恵まれ、指導者にも恵まれ.....それにしても恵まれてないのは出席率です。【munenori@horita.gr.jp】